

2022 年度業務実績報告書

提出日 2023 年 1 月 19 日

1. 職名・氏名 看護福祉学部社会福祉学科教授 奥西 栄介
2. 学位 学位 社会福祉学修士 専門分野 社会福祉学 授与機関 関西学院大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程 授与年 1997 年
3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 高齢者福祉論 (前期 2 単位) 2 年次 (2022 年度～新カリキュラムによる変更あり) 2021 年度まで「高齢者福祉論 I・II」で前後期各 2 単位であったが新カリキュラムにより、前期のみの 2 単位の授業となった。
②内容・ねらい 本講義は、わが国の高齢社会の全体的状況をおさえ、現代社会における高齢者の位置、特性の把握、高齢者の社会生活の現状と課題、介護保険制度をはじめとする保健福祉施策体系を解説する。ソーシャルワーク実践を基盤とした高齢者 (認知症高齢者) と家族に対する生活支援、高齢者虐待防止、介入の方法、さらに終末期介護に伴うソーシャルワーク支援を講義する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 毎回レジメ、関連資料を配付した。オリジナルのスライドや VTR、音声録音を使用し、また、講義に関連する実践事例、映画、文学、音楽等も紹介して変化を持たせて講義することを心掛けた。
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 ソーシャルワーク特別講義 B (前期 1 単位) 4 年次 (2018 年度～)
②内容・ねらい 4 人の教員によるオムニバス講義。高齢過疎地域における地域福祉におけるフィールドワークを担当。地域住民とのコミュニケーションを通して、人の暮らしと地域との関係性について理解を深め、コミュニティ・ソーシャルワークの端緒とする。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 2022 年度は新型コロナウイルス感染拡大のため 2 年間中止していた池田町プログラムを再開した。池田町に学生 5 人を 4 日間引率し、地元住民に対するヒアリングを中心にフィールドワークを実施した。終了後他日に約 40 名 (小学生から高齢者まで) の地域住民が集合され、学生の報告を聞かれ、活発な意見交換が行われた。
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 ソーシャルワーク演習 II (前期 2 単位) 3 年次 (2011 年度～)
②内容・ねらい 6 人の教員によるオムニバス演習。ジェネラリスト・ソーシャルワークの観点から、高齢者と家族介護者に対する相談面接技術を担当。実践事例を取り上げながら相談面接のロールプレイを通して、高齢者介護の特性をおさえた相談面接技術の解説を行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 実際の援助実践事例を題材に用いて具体的に解説、演習した。2022 年度は対面形式で実施できた。
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 社会福祉演習 I (通年 2 単位) 3 年次 (2010 年度～)
②内容・ねらい 高齢者福祉全般に関する諸資料を幅広く取り上げ、それを題材にして、人が老いを生きていくこと、老いを支え、老いを引き継いでいくことについて、人が老いることの意味について、多角的な討論を行う。

<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 2022年度は1名の履修登録があった。前期は、救護施設の高齢化の実態と課題について専門書を読解した。後期は、老いと生活リハビリテーションに関する専門書を読解をおこなった。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（後期1単位）2年次（2016年度～2022年度より新カリキュラムによる授業）</p>
<p>②内容・ねらい 7人の教員によるオムニバス講義。ソーシャルワーク実習に備え、社会福祉実践の基礎、各自の現場実習先の概要等、事前の理解を進め、次年度後期に実施するソーシャルワーク実習の実習先を決定する。2016年度より科目主担当を担当。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 各実践現場の実習指導者をゲストスピーカーとして招き、各実習先の理解をすすめた。個別面談を行い、各学生に対して2か所240時間の実習先をコーディネートした。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（通年2単位）3年次（2017年度～）</p>
<p>②内容・ねらい 7人の教員によるオムニバス講義。前期は、ソーシャルワーク実習に備え、現場実習先の概要等、事前の理解を進め、実習先における実習計画書作成指導を行う。後期は実習終了後、実習先別に実習の振り返り、まとめ、実習報告書の作成、実習報告会にむけての指導、最終評価を行う。本科目においては2017年度より科目主担当を担当。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 前期は、各実習先の理解をすすめた。個人票、実習計画書の作成を通して、実習の目的の明確化、意欲の促進を図った。終了後はグループワークを通して、各学生の実習成果を確認し、実習の意味付けを行った。個別の実習指導担当としては、高齢者施設、救護施設の4名の実習生の指導を行った。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク実習（通年4単位）3年次（2010年度～）</p>
<p>②内容・ねらい 7人の教員による23日間の実習プログラムの運営。実習施設の実習指導者と連携のもと、実習を進める。教員は実習巡回、帰校日における個別的、集団的な実習スーパービジョンを行う。2013年10月より科目主担当を担当。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 実習指導者と連携し、各学生の実習プログラムの進捗、実習目標、実習課題の達成度をモニタリングした。また、新型コロナウイルス感染拡大による実習中断に備えて、学内実習プログラムを事前に検討した。個別の実習指導担当としては、高齢者施設、救護施設の4名の実習生の指導を行った。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（通年4単位）4年次（2010年度～）</p>
<p>②内容・ねらい 高齢者福祉関連の卒業研究を指導する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 本年度は、履修登録者はいなかった。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代福祉問題論（前期1単位）1年次（2021年度～）</p>
<p>②内容・ねらい 1年生向けの社会福祉学科教員による社会福祉入門のオムニバス・プログラムである。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 「高齢者のイメージ、エイジズム」について、事例を紹介しながら具体的に解説した。</p>

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代人権論（後期2単位）1年次（2021年度～）
②内容・ねらい 1年生向けに人権の本質について理解を深めるオムニバス・プログラムである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 「平和と人権を考えるフィールド教育プログラムから(オキナワ、ヒロシマ、戦争と平和、福祉)」について、現地の現状も踏まえて、平和と人権、そして社会福祉との関係性を解説した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 高齢者福祉特論（前期2単位）大学院1年次（2010年度～）
②内容・ねらい 高齢者ソーシャルワークの基本的視点、理論的考察、実践・臨床場面における具体的展開と課題について理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 福祉社会学分野から高齢者ケアに関する研究書を輪読し、具体的な実践事例や講師による研究データも題材に、院生との討論を中心に進めた。2022年度の履修登録者は1名であった。新型コロナウイルス感染防止のため遠隔授業、及び対面授業を行った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 高齢者福祉演習（通年2単位）大学院2年次（2010年度～）
②内容・ねらい 修士論文の作成を念頭に研究テーマに関する先行研究のレビュー、調査デザインについて指導を行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 1名の社会人院生を担当、指導しているが、休学されることになった。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 修士論文指導（通年8単位）大学院2年次（2010年度～）
②内容・ねらい 高齢者福祉、高齢者ソーシャルワークに関する修士論文の作成指導を行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 1名の社会人院生を担当、指導しているが、休学されることになった。
(2)その他の教育活動 内容 昨年度に引き続き本年度も新型コロナウイルス感染防止のため、例年実施してきた広島、沖縄への「平和と人権を考えるフィールド教育プログラム」を取りやめている。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 奥西栄介（2022）「第6章 老人福祉法」家高将明・秦康宏・杉本敏夫編著『高齢者福祉論』ミネルヴァ書房,pp.85-93. 老人福祉法について、法の目的と基本理念、実施体制、措置について詳説している。 【1本】
②学術論文（査読あり） なし 【一本】
③その他論文（査読なし） 奥西栄介（2022）「高齢者支援の新たな課題とソーシャルワークの機能－ケアマネジャーの支援力強化に繋がる実践環境とは」『ソーシャルワーク実践研究』第16号,pp.41-52.（依頼論文） 介護支援専門員の役割と機能についてソーシャルワークの価値、倫理に基づいて再考した。加えて介護支援専門員の支援力強化のための実践環境のあり方を検討している。 【1本】
④学会報告等 なし 【一本】
⑤その他の公表実績 【4本】 報告書：奥西栄介（2022）「市町村の包括的支援体制と社会福祉法人等の協働に向けて～「大阪モデル」の可能性～」包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会『包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する提案～「研究会」に

<p>おける議論を踏まえて』大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課,pp.58-60 (研究会座長として) .</p> <p>論評: 奥西栄介 (2022) 「世代の引継ぎを含めた地域共生社会に向けて」 尼崎市教育委員会事務局・社会教育課,pp.1-2.</p> <p>論評: 奥西栄介 (2022) 「論壇 共生社会の価値とケアマネジメント実践」『Japan Society of Care Management News』 vol.41.p.1.</p> <p>書評: 奥西栄介 (2022) 河合美千代著,明石書店,2022 『『ごみ屋敷』で暮らす高齢者の実態「重度のためこみ状態にある住宅」の要因から居住者への支援まで』『Japan Society of Care Management News』 vol.42.p.6.</p>
<p>(2) 科研費等外部資金獲得実績</p> <p>日本生命財団 2022 年度高社会実践的課題研究助成 『『地域共生社会』の実現に向けた社会関係資本の実証的研究』 研究代表者: 塚本利幸 共同研究者: 奥西栄介・坂口昌宏・相馬大祐・永井裕子・斉藤正晃・嶋田貴美、2 カ年 343 万円.</p> <p>(3) 特許等取得</p> <p>なし</p>
<p>(4) 学会活動等</p> <p>日本社会福祉学会第 70 回秋季大会 口頭発表 B 「高齢者保健福祉 (2)」 2022 年 10 月 16 日、関西福祉科学大学,全体統括者として参加.</p>
<p>学会での役職など</p> <p>日本ケアマネジメント学会理事 (2002 年～評議員、2022 年～現在)</p> <p>日本社会福祉学会学会誌査読委員 (2009 年～現在)</p> <p>関西学院大学人間福祉学部研究会機関誌査読委員 (2016 年～)</p>
<p>学会・分科会の開催運営</p> <p>第 4 回地域共生社会推進全国サミット in つるが分科会 A 「認知症にやさしいまちづくり」 2022 年 11 月 18 日,敦賀市萬象,コーディネーターとして参加.</p> <p>日本ケアマネジメント学会令和 4 年度ケアマネジメントスキルアップ研修 「地域共生社会とケアマネジメント～地域の固有性と多様性に密着したケアマネジメント」 2022 年 11 月 26 日、スコット丸の内東京,研修委員会委員として企画参画.</p>

5. 地域・社会貢献活動

<p>(1) 学外団体</p> <p>① 国・地方公共団体等の委員会・審議会</p> <p>尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会委員 (2000 年～現在 2018 年より委員長)</p> <p>尼崎市地域包括支援センター運営部会、地域密着型サービス運営委員会委員 (2006 年～現在 2015 年度より尼崎市地域包括支援センター運営部会会長)</p> <p>神戸市地域包括支援センター選考評価委員会委員 (2006 年～現在 2014 年度より委員長)</p> <p>敦賀市高齢者権利擁護連絡協議会会長 (2010 年～現在)</p> <p>福井市老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員 (2010 年～現在,2014 年度より委員長、2015 年より福井市地域包括ケア推進協議会に移行)</p> <p>福井県後期高齢者医療広域連合福井県長寿医療運営懇話会委員 (2013 年～現在)</p> <p>福井県介護保険事業支援計画策定懇話会委員 (2014 年～現在)</p> <p>神戸市地域包括支援センター評価委員会委員委員長 (2015 年～現在)</p> <p>神戸市地域密着型サービス運営委員会委員 (2015 年～現在)</p> <p>神戸市地域密着型サービス公募選定委員会委員長 (2015 年～現在)</p> <p>福井市地域包括支援センター選定委員会及び福井市地域密着型サービス事業者選定委員会委員長 (2015 年～現在)</p> <p>福井市地域包括ケア推進協議会委員長 (2015 年～現在)</p> <p>尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定部会 部会長 (2017 年～現在)</p>
--

神戸市認知症の人にやさしいまちづくりの推進に関する有識者会議「認知症初期集中支援事業運営関連部会」委員（2017年～現在）
神戸市介護保険施設等施設整備懇話会座長（2017年～現在）
坂井市相談支援包括化推進会議委員長（2017年～現在）
尼崎市地域福祉専門分科会委員（2018年～現在）
尼崎市地域福祉専門分科会会長会議委員（2018年～現在）
福井県社会福祉審議会老人福祉専門分科会委員（2019年～現在）
尼崎市市民福祉総合政策学識者会議委員（2019年～現在）
社会福祉振興・試験センター社会福祉士試験委員（2019年～現在）
坂井市福祉保健総合計画策定委員会高齢者福祉計画部会部会長（2020年～現在）
大阪府包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会座長（2021年～現在）
福井県第三者評価基準等委員会委員長（2021年～現在）
勝山市高齢者等虐待防止ネットワーク会議委員（2021年～現在）
坂井市地域共生社会推進会議委員（2022年～現在）
福井県保団連介護サービス苦情処理委員会（2022年～現在）
あわら市地域共生社会推進会議委員（2022年～現在）

② 国・地方公共団体等の調査受託等
なし

③ （公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
社会福祉法人くらしのハーモニー 理事（1996年～現在）
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 老人施設部会社会貢献事業事例検討会スーパーバイザー（2004年～現在）
一般社団法人神戸市ケアマネジャー連絡会 研修部会施設ケアマネジャー支援委員会顧問（2008年～現在）
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会老人施設課程研修専門委員会委員（2009年～現在）
社会福祉法人福井県社会福祉協議会 福井県第三者評価機関認証委員会委員長（2013年～現在）
社会福祉法人福井県社会福祉協議会 福井県地域密着型サービス外部評価審査委員会委員長（2014年～現在）
社会福祉法人聖徳園理事（2014年～評議員, 2017年より理事）
社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 ケアマネ向上委員会委員長（2015年～現在）
一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会 演習指導者等の育成に関する諮問委員会委員長（2015年～現在）
社会福祉法人福井市社会福祉協議会地域福祉活動推進会議委員長（2018年～現在）
公益財団法人大阪ガスグループ福祉財団高齢者福祉助成・調査研究助成選考委員会委員（2016年～現在）
社会福祉法人福井県社会福祉協議会「ふくし広報コンテスト」審査委員（2016年～現在）
NPO 法人きづき沖縄市東部南地域包括支援センター顧問（2016年～現在）
社会福祉法人福井市社会福祉協議会理事（2017年～現在）
社会福祉法人福井県社会福祉協議会評議員選定・解任委員会委員長（2017年～現在）
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会大阪しあわせネットワークあり方検討委員会委員長（2019年～現在）
社会福祉法人福井県社会福祉協議会福井県ボランティアセンター運営委員会委員（2020年～現在）
社会福祉法人全国社会福祉協議会福祉サービスの第三者評価等事業質の向上推進委員会常任委員会（2021年～現在）
社会福祉法人福井県社会福祉協議会地域密着型サービス外部評価審査委員会委員（2022年～現在）

④ （兼業業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
なし

⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 厚生労働省委託事業、社団法人日本社会福祉士会 社会福祉士実習指導者講習会「実習スーパービジョン論」担当講師（2009年～現在）
⑥ 公開講座・オープンカレッジの開講 なし
⑦ 社会人・高校向けの講座 勝山高校総合研究模擬講義 2022年10月25日
⑧ その他 福井県主任介護支援専門員研修「地域援助技術」2022年2月14日 福井県介護福祉士会ファーストステップ研修「家族と地域の支援力の活用と強化」2022年2月15日 大野市地域包括支援センター職員研修会「地域包括支援センターにおける3職種（保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士）の役割とチームアプローチの方法について」2022年3月17日 福井県重層的支援体制整備事業アドバイザー派遣事業「美浜町派遣訪問」2022年3月18日 福井県社会福祉協議会介護支援専門員再研修・更新研修「自立支援のためのケアマネジメントの基本」2022年5月20日 福井県社会福祉協議会研修「施設ケアマネジメント研修」2022年9月6日 福井市高齢者虐待防止研修会「高齢者虐待・不適切なケアの防止に向けた組織的な取組について」2022年10月27日 坂井地区広域連合ケアマネジャースキルアップ研修「高齢者介護における相談援助～家族支援の視点から考える」2022年11月29日 小浜市居宅介護支援事業所連絡会研修会「家族介護者の理解と支援の要点」2022年12月19日 福井県社会福祉協議会介護支援専門員実務研修「自立支援のためのケアマネジメントの基本」2022年12月23日

6. 大学運営への参画

(1)補職（副学長、部局長、学科長等） なし
(2)委員会・チーム活動 大学院研究科社会福祉学専攻カリキュラムワーキングチーム委員（2019年～現在） 大学院研究科修士課程ワーキングチーム委員（2021年～現在） 研究等における人権擁護・倫理委員会委員（2015年～現在） 研究等における人権擁護・倫理委員会委員規程改定ワーキンググループ委員（2019～2021年）
(3)学内行事への参加 入試に関する高校訪問 京都府立鳥羽高等学校 7月5日（リモート）、高志高等学校 9月30日（リモート）
(4)その他、自発的活動など なし